

平成 29 年度 事業計画 (美術館)

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

公益目的事業 2 (展覧会事業)

平成 29 年度は 6 つの展覧会と、3 月末に六本木移転開館 10 年を迎えるにあたり、1～5 の展覧会に加えて、プレミアムトークシリーズ・工芸ワークショップ・特別講演会のイベントを記念事業として開催します。

1. 「絵巻マニア列伝」展の開催

- ア. 名称 「六本木開館 10 周年記念展 絵巻マニア列伝」
- イ. 会期 平成 29 年 3 月 29 日 (水)～平成 29 年 5 月 14 日 (日)
- ウ. 概要 文学と美術を融合させた「絵巻」は、日本で隆盛をみた芸術様式と言えます。絵巻は中世以来私たち日本人を魅了しつづけ、各時代に《絵巻マニア》とも呼ぶべき熱烈な愛好家を生み出しました。本展では、後白河法皇や花園天皇、三条西実隆といった歴代の絵巻愛好家に注目し、絵巻の鑑賞記録などをたどりながら絵巻享受の実態に迫ります。有力パトロンでもあった絵巻マニアたちの姿を追うことで、知られざる絵巻の制作背景も紹介します。
- エ. 展示 重文「病草子断簡 不眠の女」 サントリー美術館
「春日権現験記絵」第九巻 高階隆兼筆 二十巻のうち一卷
宮内庁三の丸尚蔵館
国宝「玄奘三蔵絵」第四・八巻 十二巻のうち二巻 藤田美術館
重文「酒伝童子絵巻」狩野元信筆 サントリー美術館蔵
- オ. 備考 共催：朝日新聞社 巡回：なし

2. 「玉手箱」展の開催

- ア. 名称 「六本木開館 10 周年記念展
国宝《浮線綾螺鈿蒔絵手箱》修理後初公開 神の宝の玉手箱」
- イ. 会期 平成 29 年 5 月 31 日 (水)～平成 29 年 7 月 17 日 (月・祝)
- ウ. 概要 美しく飾られた手箱は「玉手箱」と呼ばれ、貴人愛玩の器物としてだけでなく、神々への奉納物として特別に仕立てられ、今も神宝として伝わるものも少なくありません。本展では、修理後初公開となる国宝《浮線綾螺鈿蒔絵手箱》を起点に現存する手箱の名品を集め、名だたる神社に伝えられた様々な神宝類とともに展示します。金や螺鈿きらめく漆芸の結晶美を中心に、贅を尽くして作られた華やかな工芸の品々をご覧ください。
- エ. 展示 国宝「浮線綾螺鈿蒔絵手箱」 サントリー美術館
国宝「秋野鹿蒔絵手箱」 出雲大社
重文「松藤蒔絵文台・硯箱」 防府天満宮

オ. 備考 共催：読売新聞社 巡回：なし

3. 「おもしろびじゅつワンダーランド」展の開催

ア. 名称 「六本木開館 10 周年記念展 おもしろびじゅつワンダーランド(仮称)」
イ. 会期 平成 29 年 8 月 1 日 (火) ～平成 29 年 8 月 31 日 (木)
ウ. 概要 サントリー美術館では 2007 年六本木開館を機に、本格的に教育普及活動をスタートさせ、エデュケーションプログラムや鑑賞支援ツールの配布、特別イベントなどを実施してきました。この 10 年間の取組みを発展させ、2012 年に続き「おもしろびじゅつワンダーランド」第 2 弾を開催します。例えば、声を使って抽象的なかたちを文様として出現させたり、絵巻物の詞書が読めなくても音で聞いた物語の世界に入り込むかのように鑑賞したり、江戸時代のおしゃれな装束を参考にキモノをデザインしてみたり・・・からだ全体で楽しむ体験型のしかけを通して、サントリー美術館の名品の魅力に迫ります。

エ. 展示 「染付吹墨文大徳利」 サントリー美術館
「鼠草子絵巻」 サントリー美術館
「桐鳳凰図屏風」 サントリー美術館

オ. 備考 共催：読売新聞社 巡回：なし

4. 「狩野元信」展の開催

ア. 名称 「六本木開館 10 周年記念 狩野派の確立者 狩野元信とその時代 (仮称)」
イ. 会期 平成 29 年 9 月 16 日 (土) ～平成 29 年 11 月 5 日 (日)
ウ. 概要 狩野元信は室町時代に活躍した狩野派の確立者です。元信は、中国絵画の名家たちの「筆様」を整理、発展させ、真・行・草の三種の「画体」を生み出します。さらにその「型」を弟子たちに学ばせることで集団的な作画活動を可能にしました。また、父・正信が得意とした漢画に加えて、やまと絵の分野にも乗り出し、広い需要に応えました。本展では、元信の画業を中心に、狩野派が組織として大きく成長していく様子を紹介します。

エ. 展示 重文「酒伝童子絵巻」 狩野元信筆 サントリー美術館
「群雁図屏風」 伝狩野元信筆 サントリー美術館
「樹下麝香猫図屏風」 伝狩野雅樂助筆 サントリー美術館

オ. 備考 共催：朝日新聞社 巡回：なし

5. 「セーヴル磁器展」展の開催

ア. 名称 「六本木開館 10 周年記念展 フランス宮廷を彩ったセーヴル磁器 (仮称)」
イ. 会期 平成 29 年 11 月 22 日 (水) ～平成 30 年 1 月 28 日 (日)
ウ. 概要 ルイ 15 世紀時代のフランスに誕生したセーヴル磁器製作所は、またたく間に技法・デザインともにヨーロッパ磁器の最先端をゆく存在となりました。ポンパド

ール夫人、マリー・アントワネット、ナポレオンなど、時の権力者に愛され続けたセーヴル磁器は、現在もなおヨーロッパの世界的名窯として頂点に君臨しています。本展では、「セーヴル陶磁都市」所蔵の貴重な名品によって、セーヴル磁器の華やかな魅力を堪能いただきます。

- エ. 展示 「ポプリ壺 エペール」
「パーヴェル・ペトロヴィチのティー・サービス」
「スカーフダンスのテーブルセンターピース」 アガトン・レオナル作
「壺」 ピエール・スーラージュ作

*作品はすべてセーヴル陶磁都市

- オ. 備考 共催：TBS・朝日新聞社
巡回：東洋陶磁美術館・山口県立萩美術館・静岡市美術館

6. 未定

- ア. 会期 平成30年2月14日（水）～平成30年4月8日（日）

7. 「プレミアムトークシリーズ」の開催

- ア. 概要 様々な業界の第一線で活躍されている著名人をゲストに迎え、サントリー美術館の所蔵品をテーマに、当館学芸員との対談を実施します。

イ. 日程・出演者

- a. 【絵画】4月2日（日）
館鼻則孝氏〔アーティスト〕×池田美美学芸員
- b. 【陶磁】4月20日（木）
中島誠之助氏〔古美術鑑定家・エッセイスト〕×安河内幸絵学芸員
- c. 【ガラス】9月25日（月）
坂崎幸之助氏〔ミュージシャン〕×土田ルリ子学芸員
- d. 【絵画】10月8日（日）
山口 晃氏〔画家〕×上野友愛学芸員
- e. 【漆工】12月3日（日）
柴本 幸氏〔女優〕×佐々木康之学芸員
- f. 【陶磁】日程未定
井浦 新氏〔俳優・クリエイター〕×柴橋大典学芸員

ウ. 会場・人数

- a b 東京ミッドタウン・カンファレンス・各回180名を予定
その他 サントリー美術館6Fホール・各回100名を予定

8. 工芸ワークショップ「おもしろびじゅつ教室」の開催

- ア. 概要 一流の伝統工芸作家を招き、その技法を楽しみながら体験するワークショップを

シリーズで開催。公益財団法人日本工芸会の協力のもと、漆芸、陶芸、鍛金の分野で、8月には親子向けと一般向け、秋には英語での開催を予定しています。

イ. 日程・講師

【漆芸】8月5日（土）

講師：室瀬和美氏〔漆芸作家・重要無形文化財保持者（蒔絵）【人間国宝】〕

【陶芸】8月19日（土）20日（日）

講師：前田正博氏〔陶芸作家〕

【鍛金】8月26日（土）

講師：大角幸枝氏（金工作家・重要無形文化財保持者（鍛金）【人間国宝】）

* 英語での開催は漆芸と陶芸で秋を予定。

ウ. 場所・人数

サントリー美術館 6 F ホール・各回 30 名を予定

9. 特別講演会の開催

ア. 名称 特別講演会「隈研吾、サントリー美術館を語る」

イ. 日程 6月3日（土）

ウ. 概要 世界が注目する建築家・隈研吾氏にサントリー美術館の設計にまつわる様々なエピソードと建築家としての思いを語っていただきます。

エ. 場所・人数 サントリー美術館 6 F ホール・120 名

収益事業

1. 物販事業

商品開発、店頭ディスプレイの両面で強化を図り、サントリー美術館ならではの個性とセンスが感じられ、お客様に繰り返し足を運んでいただけるミュージアムショップを目指します。

(1) 商品開発

学芸員（収蔵品担当）、デザイン部との連携を一層強化、彼らの持つ知見や発想力を生かし、モチーフとなる所蔵品の選定やデザイン案の協議を通じて、当館ならではの魅力的な商品開発や、六本木開館 10 周年を機に定番商品となりうる新商品の開発も目指します。

(2) 店頭ディスプレイ

ディスプレイの工夫と、四季の変化・季節催事をいち早く取り入れるなどの積極的な仕掛けにより、展覧会の来館者だけでなく、ミッドタウンを訪れた観光客の誘引も図ります。

2. 飲食事業

創業 150 年となる「加賀麩 不室屋」の老舗ならではの信頼感とブランド力を活かしつつ、現代の感性を取り入れたメニューを提供し、新規顧客の拡大とリピーターの増加を目指し

ます。

(1) フードメニュー

展覧会ごとのオリジナルスイーツや、金沢の不室屋カフェと連動した季節のランチ、スイーツの開発に注力し、メニューの鮮度を保ち、売上増分獲得を計画しています。

(2) 物販

手土産や贈答需要にふさわしい価格帯の詰め合わせを充実させて、売上の底上げを図ります。

(3) 店内

カウンターに設置したガラスのパーテーションを引き続き有効活用する。お茶淹れの所作を「見せる」など、煎茶の注文喚起および、カウンター利用者増による回転率向上を図ります。

(4) 店外

新しい什器を設置し、折々の一押し物販商品をより見やすくディスプレイすることで、売上増を図ります。

3. 貸室事業

「茶室」の貸出により収益を得るだけでなく、当館ならではの価値の訴求に寄与し、結果として日本のお茶文化の普及にも貢献していきます。

以 上